取扱説明書 Housetec

Living with ideas

システムバスルーム 集合住宅向け

M・F・NJ・NW・B シリーズ

安全上のご注意

必ずお守りください

この安全上のご注意をよくお読みの上、正しくお使いください

◎ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

◎お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

◎表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠警告 この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」を示しています。

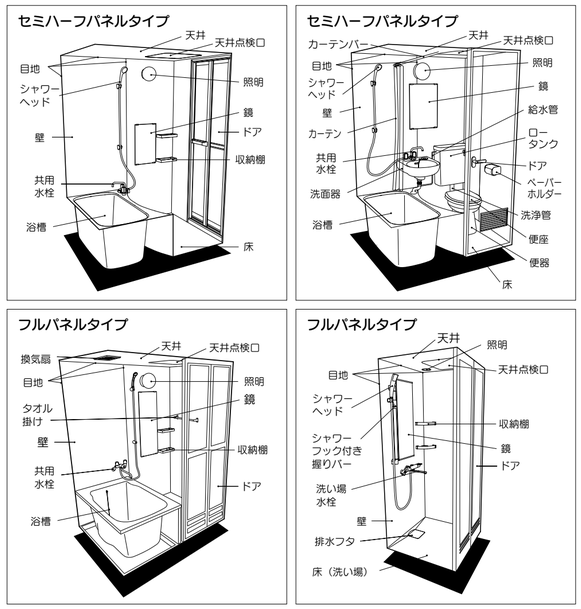
⚠注意 この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」を示しています。

◎お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示	意味
⃠	このような図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
❗	このような図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

各部の名称

●現品は図と異なる場合がありますので、ご了承ください。



⚠警告

⃠ **風呂フタに乗ったり、体重をかけたりしない**
- おぼれたり、けが・やけどをするおそれがあります。

⃠ **お酒を飲んで入浴しない**
- 足をすべらせころぶおそれがあります。

⃠ **幼児や身体の不自由な方だけで入浴させない**
- おぼれたり、けが・やけどをするおそれがあります。

❗ **排水栓は確実に閉める**
- 空だきとなり、火災の原因になるおそれがあります。

⃠ **故障、破損したら使用しない**
- 事故や故障の原因になることがあります。

❗ **照明器具や換気扇の手入れは電源（スイッチ）を切ってから行う**
- 感電やけがをするおそれがあります。

❗ **組み込まれる機器・水栓器具などについては、それぞれの取扱説明書および製品本体に表示されている事項を守る**
- 使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

⃠ **分解、修理、改造をしない**
- 感電や故障の原因になることがあります。

⃠ **照明器具にタオルなどを掛けない**
- 過熱して、火災の原因になるおそれがあります。

⃠ **照明器具のカバー（グローブ）を外したり、破損したまま使わない**
- 感電したり、電球が割れてけがをするおそれがあります。

⃠ **浴槽排水と洗面排水を同時に行わない**
- 排水が洗場にあふれ出ることがあります。

⃠ **陶器（洗面器、便器）に硬いものや先のとがったものをぶつけない**
- 破損してけがをするおそれがあります。

⃠ **下部点検口フタにのらない**
- 破損してけがをするおそれがあります。

⚠注意

⃠ **壁パネルに無理な力を加えたり、硬いものをぶつけたり、こすったりしない**
- 破損してけがをしたり、照明器具の破損や、周囲のコーキングが切れ、水漏れの原因になります

⃠ **ドアのハンドルや引き手にぶら下がったり、無理な力をかけない**
- ドアが外れ、けがをするおそれがあります。

⃠ **排水口にシンナーなどの溶剤を流さない**
- 排水部分が破損して、水漏れの原因になることがあります。

⃠ **排水栓をつないでいるくさりの浴槽取り付け部を無理にまわさない**
- 取り付け部がゆるむと水漏れのおそれがあります。

❗ **床が石けんや湯あかで濡れているときは、洗い流す**
- ころんでけがをするおそれがあります。

⃠ **固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしない**
- 金属やゴムが腐食・劣化して、水漏れの原因になります。

❗ **風呂フタは必ず浴槽にあったものを使用する**
- 風呂フタが外れたりして、けが・やけどをするおそれがあります。

❗ **設置して8～10年経過した照明器具は、お買い上げの販売店などに点検・交換を相談する**
- 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。
  ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。

⃠ **ドアのパッキンが切れたり、外れたまま使わない**
- 水漏れのおそれがあります。

❗ **器具の位置を変えたり、新しく取り付けるときは必ずお買い上げの販売店などに相談する**
- 誤った取り付けをすると、思わぬ事故や水漏れの原因になることがあります。

⃠ **浴槽に飛び降りる等、無理な力をかけない**
- ヒビが入って、水が漏れたり、けがをするおそれがあります。

⃠ **浴槽上縁面、カウンター、握りバーに乗ったり、ぶら下がったりしない**
- 破損や転倒によるけがのおそれがあります。

⃠ **浴槽から勢い良くお湯をあふれさせない**
- バスルーム外に水があふれたり、洗い場のフタ（排水フタ）が外れて転倒するおそれがあります。

⃠ **ドアに勢い良く水をかけない**
- 水漏れのおそれがあります。

⃠ **バスルーム（天井、下部点検口）のフタは、設備点検時以外絶対にあけない**
- フタが外れ、けがをしたり水が漏れるおそれがあります。

⃠ **トイレ用洗剤は、便器（陶器部分）以外は使わない**
- 他の部分に使用すると、変色、劣化など不具合を生じるおそれがあります。

⃠ **洗面器に手をついて無理な力をかけない**
- 洗面器がだ
- 洗面器がだ
- 洗面器がだ

お手入れ方法

長くご愛用いただくために日頃のお手入れをしてください。

お手入れに必要な用具

- 乾いたやわらかい布またはスポンジ
- 毛先の柔らかいブラシ…床全体を洗う時に使います。

- 浴室用中性洗剤
  皮脂や石けんかすの付きやすいところ（浴槽、床、壁など）のお掃除に使用します。

- 浴室用クリームクレンザー
  （おふろのルックみがき洗い：ライオン）床や鏡にこびり付いてしまった汚れを落とすために使用します。

「おふろのルックみがき洗い」以外は使わないでください。また、他の部材には使用しないでください。

お願い

- 洗剤を使用した後は、洗剤の成分が残らないよう確実に洗い流してください。
  中性と表示されている洗剤でも、溶剤が成分として含まれているものがあり、その成分を付着したまま放置しておくと、浴槽や浴槽エプロン、棚や排水栓のパッキンなど各種樹脂製品を傷め、変色や割れの原因となります。

⚠注意

固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり近づけたりしない
金属やゴムが腐食・劣化して水漏れの原因になります。

かび取り剤（漂白剤）
塩素系のかび取り剤は、頻繁に使わず必要なときだけにしてください。また、必ず製品の注意事項を読み正しくご使用ください。特にパッキン、目地、コーキング材などバスルームの樹脂部分に長時間付着させないようにしてください。
なお、メッキ部分や金属部品へは使用しないでください。さびてしまうことがあります。

使ってはいけないお掃除道具

- ナイロン・スチールたわし
- たわし
- 高機能スポンジ（メラミンフォーム製スポンジ）
- 研磨剤入りスポンジ

使ってはいけない洗剤

次の洗剤・薬品は部品を傷めてしまうので使わないでください。

- みがき粉などの粒子の粗い洗剤
- シンナー
- 酸性・アルカリ性の洗剤
- ベンジン
- 漂白剤
- 激泡タイプのアルカリ性洗剤
- 重曹
- セスキ炭酸ソーダ
- 酸素系漂白剤
- クエン酸※

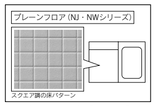
※除菌楽すでヘアキャッチャー、除菌排水口の部品は除きます。

床のお手入れ

床は排水効果の高いパターンによって乾きやすくなっていますが、石けんかすや皮脂などの汚れがたまると乾きが遅くなります。汚れがたまり乾きが遅くなる前に、こまめなお掃除をお願いします。

毎日

入浴した人が都度床にシャワーをかけて、石けんかすや皮脂、シャンプー・リンス成分を流してください。



週に1回

浴室用中性洗剤を床全体に吹きかけ2〜3分おいてから、柔らかいスポンジで床の表面全体を洗ってください。

お願い

- シャンプーや洗浄剤は床に残らないよう必ず洗い流してください。
  液に含まれる成分が床を傷めるおそれがあります。
- 床周囲に施されているコーキング部は歯ブラシでこすらないようにしてください。
  コーキング材を傷めて、十分なシール効果を発揮できないおそれがあります。

床及び浴槽下と浴槽まわりのお手入れ

毎日

- 湯あかや石けんかすは乾いてからでは落ちにくくなります。
- ご入浴後排水するときに、やわらかい布またはスポンジで床や浴槽をかるく水洗いしてください。このとき、床周囲のコーキング（目地）材はブラシでこすらないでください。
- 中性洗剤をお使いになれば、さらに美しくなります。

週に1回

- 浴槽排水口にたまった髪の毛等のごみを取り除いてください。また、そのごみは排水口に流さないでください。
- 浴槽下からお湯を排水するタイプは、ぬめりが発生しやすいため、ホースで放水してください。

⚠注意

浴槽の中に洗剤や酸素系漂白剤を入れて風呂フタや風呂いす、衣類のつけ置きをしない
浴槽が変色したり、パッキンを痛めたりする原因となります。

浴槽は定期的に掃除する
底面についているミクロストップは、汚れがたまるとすべりやすくなり、けがをするおそれがあります。

風呂フタは必ずシャワーで洗う
浴槽でつけ置き洗いをすると、風呂フタ表面から水が入りこみ、水が抜けなくなります。

床の排水後には軽く水滴を拭き取ってください

- 床は、ＦＲＰ（繊維強化プラスチック）でできているため、従来のタイルに比べ排水後、水滴が残ることがありますので、軽く水滴を拭き取ることをご推奨いたします。

洗場床の周囲、排水口廻り、浴槽下のお手入れの際注意していただきたいこと

- お手入れは、やわらかい布またはスポンジで中性洗剤の使用をご推奨いたします。
- お手入れするときは、硬質タワシやクレンザー、みがき粉等は使用しないでください。床面の割れ、はがれの原因になります。
- 重量物をひきずったり、衝撃を与えないようにしてください。割れ、傷の原因になります。

排水フタはこまめにお手入れ

- 排水フタは湯あかや石けんかすの特にたまる所ですので、水洗いや中性洗剤で、こまめに洗い落としてください。
- 排水フタは、模様面が表面です。

お願い

- 排水フタを裏返しにして床の上に置かないでください。
  排水フタの表面を傷めるおそれがあります。

壁・天井・目地のお手入れ

床・壁・天井の継目部分にはめ込まれている目地材やコーキングには、ごみやあかがつきやすく、かびが発生することがあります。

週に1回

- やわらかい布、またはスポンジに中性洗剤をつけて、壁・天井・目地部の汚れを拭きとってください。

お手入れの際注意していただきたいこと

- 目地材は防水性能上大切な役割をはたしております。取りはずしたり、傷つけたりしないようご注意ください。（ご注意）
- お手入れするときは、歯ブラシ、たわしなどは使用しないでください。目地材を傷め、水漏れの原因となることがあります。

排水まわりのお手入れ

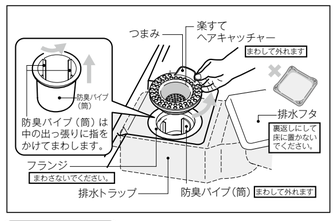
排水トラップは臭気止めの効果をはたす重要な部品です。

排水トラップは常に清潔に

- トラップ内に毛髪やごみが詰まりますと、排水能力が低下し不衛生になるばかりでなく、床面に水があふれたり水漏れの原因になります。週に１回は清掃してください。
- 万一詰まった場合はすぐに取り除いてください。

お掃除の手順（NJ、NW、Bの場合）

1) 排水フタをはずします。
2) 目皿もしくはヘアキャッチャーをはずします。
3) ヘアキャッチャーや排水トラップの中の毛髪やごみを取り除きます。



掃除が終わったら

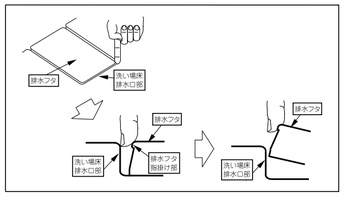
1) 目皿を正しく取付けてください。
2) 封水を保つため、必ずバケツ1パイの水を流してください。

ヘアキャッチャーの取付（ヘアキャッチャー付きの場合）

- ヘアキャッチャーはトラップ内側の溝（4ケ所）の間にはめ込んで45度まわしてください。
- 除菌楽すでヘアキャッチャーのお手入れ方法は、専用の取扱説明書をご覧ください。

排水フタ着脱方法

- 洗い場床排水口部と排水フタとのコーナーのすき間、又は指掛け部に、指先を掛けてください。
- 排水フタ指掛け部を指先に掛け、持ち上げてください。



ドアのお手入れ（各タイプ共通）

- ドア（障子または框）

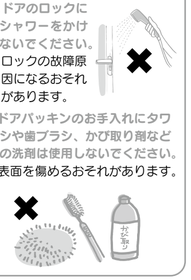
毎日 最後に入浴した人がドアにシャワーをかけて、身体を洗ったときに飛び散った石けんかすや皮脂を流してください。入浴後やお手入れのときに、ドア下枠に水が残ります。気になる場合は拭き取ってください。

週に1回 バスルーム側は柔らかい布またはスポンジに浴室用中性洗剤を付けて、ドアの面材に付いた汚れを洗い流してください。脱衣室側は浴室用中性洗剤をつけた柔らかい布でほこりなどの汚れをふき取ってください。

- ドア枠 **月に1回**
  ドアの下枠は髪の毛やほこりのようなごみがたまりやすい部分です。割りばしにティッシュなどを巻き付けたものを利用して、ごみをかき出し取り除いてください。

お願い

- ドアのロックにシャワーをかけないでください。
  ロックの故障原因になるおそれがあります。
- ドアパッキンのお手入れにタワシや歯ブラシ、かび取り剤などの洗剤は使用しないでください。
  表面を傷めるおそれがあります。



ご使用で不具合を感じた場合

こんなときはすぐに使用をやめて修理をご依頼ください。

- ドアがスムーズに開閉できない。
- ドアのレバーがガタつく。
- ハンドルのメッキがはがれた。

⚠注意

ドアに勢い良く水をかけない
水漏れのおそれがあります。

ドアパッキン

週に1回 ドアの障子またはドア枠についているパッキンは、洗い場の排水が脱衣室側へ流れないようにするための重要なパーツです。浴室用中性洗剤を付けた柔らかい布で汚れをふき取ってください。パッキンは柔らかい部品ですので、傷めないよう汚れをやさしくふき取ってください。

パッキンに不具合を感じた場合

ドアのパッキンは定期的に交換が必要な消耗品です。ご使用中に切れたり、外れて元に戻せなかったりと、不具合を感じた場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。

⚠注意

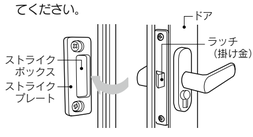
ドアのパッキンが切れたり外れたまま使わない
水漏れのおそれがあります。

お願い

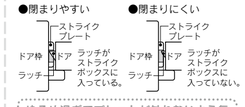
- ドアパッキンのお手入れにタワシや歯ブラシは使用しないでください。
  表面を傷めるおそれがあります。

ドア（開閉具合の調整）

- 框戸：ガラリあり
  ドアが完全に閉まらず自然に開いてしまったり、閉まりにくいときは、ドアのラッチ（掛け金）とドア枠のストライクボックス（掛け金を受けるへこみ）の位置を調整してください。



ラッチ調整の仕方

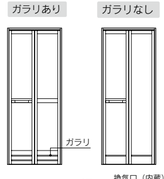


ゆるめ過ぎてプレートが外れないよう気をつけてください。

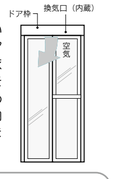
- 開き戸（ガラリなし）
  ドアが完全に閉まらず自然に開いてしまったり、閉まりにくいときは、ドアのラッチ（ボール状の出っ張り）とドア枠のラッチ受けの位置を調整してください。

ドアガラリ（換気口）

ドアにはガラリがあるものとないものがあります。



ガラリがないタイプは、ドア枠上部に脱衣室から空気を取り込むための換気口が内蔵されています。



お願い

- ドア枠上部の換気口に手を入れないでください。
  手をはさんだり、換気口の構造を壊すおそれがあります。

収納棚のお手入れ

毎日

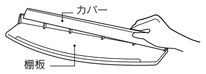
ボトルの液だれや小物の水分などを、棚と小物の両方ともふき取ってください。

週に1回

収納している小物を取り出し、棚板を取り外して、浴室用中性洗剤を含ませた柔らかいスポンジで棚板を洗ってください。洗ったあとは洗剤を十分流して、棚板を取り付けてください。

年に1回

フロントシェルフはカバーが外せるようになっています。年に1度は外して、棚板の取り付け部も棚板と同じように洗ってください。



お願い

- クレンジングオイルなどの洗顔料や整髪料、バスオイルなどの入浴剤や洗剤を置く場合、液だれがないよう洗い流して置いてください。また棚の表面に液体が付いたときは、洗い流して残らないようにしてください。
  液に含まれる成分が、棚を傷めるおそれがあります。

棚板の外し方

- ワイドシェルフ・スマートシェルフ棚を両手で持ち、引き上げて外してください。
- コーナーシェルフ棚板を手前に引きだしてください。
- ワイヤーラックを引き上げて外してください。

水栓金具・器具類等のお手入れ

浴室用中性洗剤をぬるま湯で薄めて、柔らかい布で汚れをふき取りその後、乾いた布で仕上げてください。

お願い

- クレンザー（みがき粉）などの粒子の粗い洗剤やスチール、ナイロンタワシは使用しないでください。器具の表面を傷付けます。
- 酸性洗剤、塩素系漂白剤、鉱物性潤滑剤、シンナー、ベンジンなどは、器具の樹脂部分（ハンドル、シャワーヘッド、パッキンなど）を傷めますので使用しないでください。

点検口について

天井の点検口は配線・ダクト・換気扇の点検、洗場点検口は配管の点検などに使用します。

点検の際に注意していただきたいこと

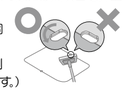
- 点検の際は、付属品の上や天井の上にのったり、天井にぶらさがったりしないでください。
- 脚立をご使用の際は、床面を保護して作業は安定な姿勢で行ってください。

点検後は点検口をもと通りに正しく

- 点検が終わった後は、点検口をもとの位置に正しく取付けてください。
- 洗場点検口は防水上重要な場所であり、点検後は周囲のスキ間がない様にしっかり締めてください。

清掃の際に注意していただきたいこと

- 点検口が落下するおそれがありますので、清掃の際には点検口を押上げないでください。
- 点検口フタ固定具がある仕様は、点検口フタ固定具が回転しないように注意してください。
  回転した場合は、点検口フタ固定具を点検口側に向けてください。（機種により仕様が異なります。）



照明のお手入れ

⚠注意

- 電球は必ず器具に表示してある種類、ワット（W）数の適合ランプを使用する。異なる種類、ワット（W）数のランプを使用しますと、過熱によりやけどや器具が変形、変色したり火災の原因となります。また、器具が変形すると防湿性能が失われ、漏電の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。
- 設置して8〜10年経過した照明器具は、お買い上げの販売店などに点検・交換をご相談ください。
  設置して8〜10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。
  ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- カバー（グローブ）は、定期的に清掃する。
  グローブに埃などがたまると、グローブに熱がこもり、グローブの変質、変色、割れのおそれがあります。
- 照明器具のお掃除に洗剤は使用しないでください。変質、変色、変形のおそれがあります。

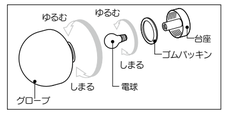
グローブのお手入れ

半年に1度

電源（スイッチ）を切って、器具の温度が下がってからグローブをはずしてください。汚れはぬるま湯に浸した柔らかい布でふき取ってください。グローブの水気を取り除いたあと、照明の台座に取り付けてください。

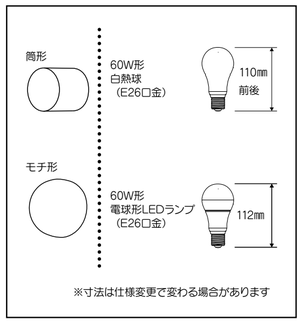
- 壁付照明のグローブと電球の外し方

取付の際は、ゴムパッキンを忘れずに入れてください。しめすぎ・ゆるめすぎのないよう気を付けてください。方向のあるグローブの場合は、水平になるように取り付けてください。



電球の交換

壁付照明では以下の電球のいずれかが使用されています。電球の交換が必要になったときはそれぞれの照明で指定している電球に交換してください。



※寸法は仕様変更で変わる場合があります

電球の種類や品番は照明本体に表示されています。指定された品番の電球を見つける事ができない場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。イラストと違う形状の壁付照明が取り付いている場合がありますが、その際も電球は照明本体の表示に適合するものをお使いください。

お願い

- カウンターや浴槽の上平面部に乗って電球の交換をしないでください。部材が破損したり、足をすべらせてけがをするおそれがあります。

電球形LEDの使用についての注意

①密閉形や防湿、防雨の器具に対応したもの。
②ワット数、口金サイズに適合しているもの。
③交換前の電球より極端に大きなものは避ける。（めやすとして+10㎜以内）
④光は全方向型であること。（電球形LEDランプの場合）

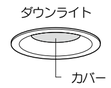
LED素子にはバラツキがあるため、同じ形式のランプでも光の色、明るさが異なることがあります。

ダウンライト

本品はLEDを光源としていますが、ランプは内蔵で交換が必要になった場合は本体ごと入れ替えるタイプです。一般的な白熱球とは違う特性がありますので、以下の内容をご理解の上でお手入れをお願いします。掃除は外側のカバーだけになります。

カバーのお手入れ

半年に1度、電源（スイッチ）を切って、器具の温度が下がってからカバーについたホコリや汚れをぬるま湯に浸した柔らかい布でふき取ってください。



「あれ？」と思ったら

商品に故障が生じたときは次の点をお調べになってから、お買い上げの販売店、またはお近くの**ハウステック**サービス網一覧表の窓口にご相談ください。

現　象	原　因	処　置　方　法
鏡表面の汚れが取れない。	水滴が乾いて、こびりついたためです。	クリームクレンザーにて、お手入れしてください。
排水が悪い。	ごみが溜まっていませんか。既設品の取扱説明書をご確認ください。	トラップのごみを取り除き、捨ててください。（排水口の中には捨てないでください。）
洗髪時の泡が残る。	泡の量が多いと、水といっしょに流れないためです。	シャワーをかけて流してください。
照明が点灯しない。	球切れではありませんか。	スイッチおよびブレーカーを切って、新品の電球（60W以下）に交換してください。
天井に水滴がたまる。	湯気やミストなどが天井に付き、成長してできたものです。	入浴後は換気扇を回したり、窓をあけるなどして、浴室内を乾燥させてください。残り湯がある場合は、必ず風呂フタをしてください。
入浴中寒く感じる。	換気扇を運転しながら入浴していませんか。	入浴中は換気扇の運転を止めてください。
浴槽やカウンターに水が残る。	どちらも勾配をつけていますが、水には表面張力があり残ります。	入浴後は水気をふき取ってください。
水栓金具のハンドルを回すと、カンまたブーンという音がする。	配管が振動する音です。	水栓金具のハンドルは、ゆっくり回してください。
シリコン、目地にカビが生える。	浴室の換気と手入れは十分ですか。	入浴後は換気扇を回したり、窓をあけるなどして、浴室内を乾燥させてください。かびは一度生えると、カビ取剤や漂白剤ではきれいに取り除くことはできません。取替える場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
水栓から水が漏れる。	パッキンが劣化していることがあります。	パッキンは消耗品ですので、水漏れが発生したら、お買上げの販売店または、**ハウステック**サービス網一覧表の窓口へお問い合わせください。
水栓の吐水量が少なくなり、温度調節が悪くなった。	水栓のストレーナーに、ごみが詰まっていることがあります。	水栓のストレーナーを掃除してください。掃除方法については器具の取扱説明書をごらんください。
換気扇を運転しながら入浴すると、換気扇より水が落ちてくる。	冬期などは特に湿気を多く含んだ空気が換気扇（グリル部）に当たり、水滴となって落下しますが、異常ではありません。	故障などではありません。入浴後もしばらくの間、換気扇を運転させてください。
開閉時に音がする。	水密性を保つためのパッキンと障子がこすれて音が発生する場合があります。	異常ではありません。そのままご使用ください。
開閉時に風切り音がする。	気密性が高いので、換気設備の性能によっては、風切り音が発生する場合があります。	異常ではありません。ドアをゆっくり開閉してください。

アフターサービスについて

アフターサービスを依頼する前に

- 商品に不具合を感じたときは“「あれ？」と思ったら”を見てもう一度確認してください。それでも不具合が直らない場合は、自分で修理しないで、お買い上げの販売店またはハウステックサービス網一覧表の窓口にご相談ください。
  ご相談の際はお手もとに保証書をご用意ください。

アフターサービスを依頼するときは

- アフターサービスを依頼するときは次のことをお知らせください。
  【1】商品の「型式」
  【2】不具合の状態（できるだけ詳しく）
  【3】住所・氏名・電話番号
  商品の「型式」はドア上側に貼り付けられています。

保証と保証期間について

- この取扱説明書には保証書（別紙）が付いています。記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書に明記してあります。
- 保証期間中でも有償になることがありますので、保証書の記載内容をご覧ください。
- アクアソフト水栓セットは、システムバスルームと補償内容が異なります。詳しくは、アクアソフト水栓セットの保証書をご確認ください。

器具の追加や変更について

- 器具を新しく追加したり、位置を変更するときは、お買い上げの販売店または、ハウステックサービス網一覧表の窓口まで相談ください。

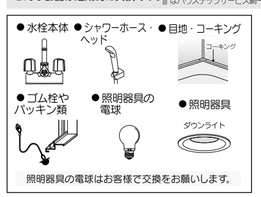
バスルーム廃棄についてのお願い

- このバスルームを廃棄される場合には、必ず公的な許可を受けている処理業者様にご依頼ください。
  バスルームの廃棄部材が不法投棄等されていた場合、廃棄の依頼者が法律違反で罰せられます。

器具の交換について

- 器具等に破損・ひび割れ等が生じた場合は、速やかにご連絡ください。

こんな部品は定期的に交換です。 ご使用中に不具合を感じたときは、お買い上げの販売店またはハウステックサービス網一覧表の窓口までご相談ください。



照明器具の電球はお客様で交換をお願いします。

交換の目安は、パッキンや目地材など消耗部品ご使用開始から3〜5年、水栓本体やドア、換気扇、照明器具など器具部品で5〜10年です。ただし、お客様のご使用状況により大きく異なります。また、保証期間ではありません。

お客様ご相談窓口のご案内

窓口　全般

- 商品のお問い合わせ・修理のご依頼は、電話混雑時には繋がりにくいため、弊社ホームページ **www.housetec.co.jp** お客様サポートの「よくあるご質問」「商品のお問い合わせ」「修理のご依頼」のweb画面からのご利用をおすすめいたします。
- 補修部品のご購入は弊社ホームページでご案内のショップをご利用下さい。メールでのお問い合わせも受付しております。

お電話でのお問い合わせは下記にて承っています。

商品のお問い合わせは（お客様相談窓口）	修理のご用命は	補修部品のご購入は（代引き販売窓口）
個人のお客様 **0120-801-761** ※携帯電話の場合 0570-001-761（有料） 販売・施工など業者様 **0570-071-761**（有料） ●受付時間　9:00〜17:00（12:00〜13:00を除く） 土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。	個人のお客様 **0120-102-471** ※携帯電話の場合 0570-002-471（有料） 販売・施工など業者様 **0570-022-471**（有料） ●受付時間　365日　24時間 （修理訪問は日中、地域により休日あり）	個人のお客様 **0120-455-621** ※携帯電話の場合 0570-002-621（有料） 販売・施工など業者様 **0570-022-350**（有料） ●受付時間　9:00〜17:00（12:00〜13:00を除く） 土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

株式会社 ハウステック　群馬県高崎市栄町1-1　ヤマダホールディングス本社11階内　〒370-0841
Tel. 027-395-0410　www.housetec.co.jp

2W00003966　2025.8